東海道四百年の歩みを踏みしめる

慶長六年（一六〇一年）、徳川家康が東海道に宿駅伝馬制度を定め、街道の整備を始めてから四百年あまりもの歳月が流れました。

慶長九年（一六〇四年）には、江戸日本橋が五街道の起点となり、その後、五街道を中心に一里塚や並木などの施設が次々と整備され、東海道は日本を支える大動脈として、人・物・文化の交流に大きな役割を果たしてきました。

さまざまな歴史を運んだ東海道、この道を歩き、踏みしめ、道が果たしてきた役割、これからの姿を見つめましょう。

現在の道を守っています

かつての東海道は、現在国道1号や15号として、人の移動や物流を支えています。横浜国道事務所ではこれら神奈川県内の主要な国道（神奈川県内の国道延長の約4割にあたる約258km）を管理しています。道路を安全で快適に使っていただくために、日々の点検やパトロールをはじめ、道路構造物の補修や修繕、清掃作業などを行っています。

宿場マップについて

東海道には53の宿場が（神奈川県内では9宿）ありました。これらの宿場は旅の宿として繁盛し、現在もその周辺には当時の名残をとどめる史跡や名所が数多く残っています。そこで、このマップでは道中の見どころや自然、行事などを広く網羅して、歩きながら東海道の"むかし"と"いま"が楽しめるように神奈川県内の9宿を5冊に分けて編集しています。

なお、表示していますルートは概ね旧東海道に沿ったウォーキングルートであり、実際の旧東海道とは異なる場合があります。

藤沢宿

東海道現代遊楽帖

川べりの遊歩道

「水と緑と人」との調和を図った引地川沿いの遊歩道。公園もあわせて作られ桜並木も点在し、憩いの場となっています。

藤沢市

N

43

藤沢インター

城南

54km

1

44

43

日本橋より53km

大山道道標

14

四ツ谷

交番前

県道伊勢原藤沢

羽鳥

柏山稲荷神社

11 本願寺

横浜湘南道路(事業中)

12 養命寺

引地橋西

県道藤沢厚木

御霊神社

13 耕余塾跡

307

藤沢出張所
(国土交通省横浜国道事務所)

楽 川べりの遊歩道

引地川

11 本願寺（ほんがんじ）

明暦2年(1656年)の創建と伝えられています。山門のそばに双体道祖神塔や馬頭観世音菩薩像などがあります。

バイパスと合流する地点
立場茶屋がありました。
の不動明王が安置され
大山道の一の鳥居が立っ

13 耕余塾跡（こうよじゅくあと）

漢学者の小笠原東陽は読書(とくしょ)院を設立し、塾教育を進め、明治10年(1877年)、塾名を耕余塾と改めました。県下有数の中等教育機関で、後の首相吉田茂などを輩出し、現在は勝海舟筆の「小笠原先生碑」が立っています。

12 養命寺（ようめいじ）

御本尊の木造薬師如来坐像は国の重要文化財です。ほかにも日光･月光菩薩像や十二神将など仏像や石造物が数多く残っています。

主要地方道　県道　有料道路　3 名所･史跡　トイレ　公園　P 駐車場　その他のポイント　楽 東海道現代遊楽帖　観光案内所

新湘南バイパス

藤沢バイパスと西湘バイパスを一つにつなぎ、湘南地域の渋滞緩和を図るほか、さがみ縦貫道路、横浜湘南道路と連絡し、広域幹線道路網を形成する道路です。藤沢ICから大磯IC（仮称）までの15.1kmのうち、藤沢ICから茅ヶ崎海岸ICまでの9.6kmが開通しています。

茅ヶ崎JCT付近

1:10,000
500m
1000m

新湘南バイパス

1
44

55km
56km

松並木
赤松町
一里塚跡
二ツ谷公民館前
東小和田
小和田
熊野神社
千手院
辻堂

で、境内には稲荷明神堂
。浜降祭では御輿が境内
行われています。

14 おおやまみちどうひょう
大山道道標

東海道が藤沢バ
は四ツ谷といい、
小堂があり石造
ています。右に大
ています。

地図の凡例　旧東海道　宿内　一般国道

今も昔も潮風香る茅ヶ崎の茶屋の賑わい。

藤沢、平塚宿の間で賑わったこの地は、三ヵ所の立場（たてば）がありました。四谷（四家）、菱沼（牡丹餅）、南湖の各立場です。中でも南湖の立場は茶屋町と称されるように大きな立場で、十七世紀後半には成立していたと考えられます。

4 円蔵寺（えんぞうじ）

慶安2年（1649年）、徳川家光から朱印状が与えられており、江戸時代には13の末寺を持つ中本山。

。その後、の神社で、月29日に。

3 海前寺（かいぜんじ）

藤沢市大庭・宗賢院の記録では、天正19年（1591年）創建。江戸初期の茅ヶ崎村領主で旗本、丸毛家の菩提寺となりました。

2 熊野神社（くまのじんじゃ）

旧小和田村の鎮守で、京都の高位の公家が東下り中に菱沼にあった牡丹餅茶屋で休憩し「相模なる小和田の浦の姥島は誰をまつやらひとり寝をする」と詠んだ歌碑があり、姥島（烏帽子岩）の帰属をめぐる伝説が残っています。

1 千手院（せんじゅいん）

本尊千手観音が有名が建立されています。を練り浄める祭事も

6 梅雲寺（ばいうんじ）

明治19年（1886年）の『皇国地誌』には、慶長4年（1599年）に、寺名の由来となった広誉梅雲という僧が開いたと伝えられています。

5 鶴嶺八幡宮（つるみねはちまんぐう）

伝説では平安時代後期に、矢畑に源頼義が創建、現在地に遷座したといわれています。市内最古の境内にあった佐塚明神社では、江戸時代旧暦6月は、南湖の浜へ御輿の浜降りが行われていました

旧相模川橋脚

大正12年（1923年）に起きた関東大震災によって、水田の地中より木柱が出現したもので、歴史学者　沼田頼輔によって鎌倉時代に相模川に架けられた橋であると考証されました。平成の保存整備では、10本の橋脚のほかに新たに土留め遺構があることがわかったほか、地震による液状化現象も観察されています。

また、この橋には源頼朝が渡り初めをした後に落馬したという話も伝わっています。

茅ヶ崎のイベント情報

●大岡越前祭（浄見寺及び茅ヶ崎駅周辺／4月中旬）
名奉行大岡越前守忠相の菩提寺で知られる浄見寺での墓前祭や越前行列など、様々な催しが繰り広げられています。大正元年（1912年）にはじまった大岡忠相を顕彰する祭で、関東大震災などで中断した後、昭和31年に復活し、春のビッグイベントとして現在まで続いています。

●湘南祭（サザンビーチちがさき／4月下旬）

●浜降祭（西浜海岸／7月海の日）
茅ヶ崎市、寒川町の神社の神輿三十数基が西浜海岸に集まり、みそぎを行います。神輿を担いだ担ぎ手が荒々しく海に入る様子は圧巻です。

●サザンビーチちがさき花火大会（サザンビーチちがさき／8月上旬）

●なんでも夜市（中央公園／8月上旬）

●茅ヶ崎市民ふれあい祭り（中央公園／11月3日）

●ちがさきレインボーフェスティバル（県立茅ヶ崎里山公園／11月上旬）

※開催日時等は都合により変わる場合もありますので、主催者または市へご確認ください。

東海道五十三次 得知る版

南湖の左富士

歌川広重の傑作「東海道五十三次名所図会七、藤沢」で、"南期の松原左不二"として描かれているように、京へ向かう場合の東海道で概ね道の右側に見える筈の富士山が、鳥井戸橋のあたりでは、道の左側に見えるという景色が展開します。江戸後期の道中記などにしばしば南湖の左富士が登場します。

8 信隆寺（しんりゅうじ）

寛永元年（1624年）、甲斐武田氏の流れを汲む武田信就が先祖の菩提を弔うため創建しました。出家した信就は信隆院日閑と名乗り、寺名としました。寛永元年の銘が刻まれた鰐口が伝わっています。

7 上国寺（じょうこくじ）

江戸時代の地誌『新編相模国風土記稿』には、鎌倉後期の応永4年（1397年）に没した大乗院日経という僧がこの寺を開いたと記されています。本尊の日蓮上人木像は永正11年（1514年）の銘を持っています。

ウォーキングの疲れを明日に残さないため

ウォーキングを続けていくと、やはり疲れが溜まってしま
も元気に、気持ちよく歩けるように、体のケアを忘れずに。

マッサージで足のケア

足のマッサージは心臓から遠い順に足の裏→甲→アキ
はぎ→ふとももと行っていきましょう。この順で行うこと
パの流れが促進されます。指圧の加減は、「痛いけど気持
の力で呼吸に合わせて押していきます。

朝起きて一番にストレッチ

疲れにくい体をつくるために、1日おきを目安に朝の
慣化することによって、体の柔軟性が向上します。また、
みの緩和・予防にもつながります。